

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド

2016年度第4四半期 決算報告および事業概況

2017年1月30日Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2016年度第4四半期の決算を発表しました。社長兼CEOアナ・マニングのメッセージは以下の通りです。

「2016年度第4四半期も好業績を収め、大変好調なうちに2016年度を締めくくることができました。第4四半期は、全般に高い気運を維持することができ、今期も事業地域・商品ラインにおいて多様化した収入源を有するグローバルなビジネスモデルが功を奏しました。大半の事業部門が堅調な実績を上げ、特に米国のトラディショナル・セグメントの事業が優れた実績を収めました。更に、欧州・中東・アフリカからなるEMEA地域、アジアのトラディショナル・セグメントおよびカナダの事業も好調に推移した一方で、オーストラリアの事業は予想を下回りました。安定したビジネスの成長に加えて既契約ブロックの取引も貢献し、保険料収入は今期も目覚ましく伸び、前年同期より7%（為替の影響を除けば9%）増加しました。

2016年度の通期ベースでは、主な事業部門が堅調な実績を上げたことを受けて、一株当たり純利益10.79ドルおよび一株当たり営業利益**9.73ドルの好業績になりました。当社の戦略全般、そしてグローバルなビジネスモデルに基づき多様なソリューションをお客様にご提供することが安定した業績につながりました。低金利環境や外貨の弱含み等、マクロ要因の逆風が続いているにもかかわらず、このような好業績を達成しました。2016年度は自己資本利益率**が11%となり、当社は強固な財務基盤を有します（ROEは10%を達成しました）。

2016年度は既契約ブロック等の取引を多数実行しましたが、近年の取引に比して取引の平均サイズは小規模になりました。当社の余剰の資本は年末時点で約11億ドルに上ります。取締役会は、これまでの予算枠に代わり、新たに4億ドルの自社株買戻しの予算枠を承認しました。今後も既契約ブロック等の魅力的な取引や自社株買戻しプラン、株主配当の増額等、バランスのとれた資本運用戦略を実行して参ります。2016年末時点でその他の包括利益累計額を含む一株当たり簿価は110.31ドル、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価**は92.59ドルになりました。

今後を見据えると、お客様のニーズに対応して戦略を実行し、魅力的な財務利益を挙げられる体制にあり、今後のビジネスに明るい見通しを持っています」

取締役会は、四半期配当金0.41ドルを2月9日時点で株主名簿に記載のある株主に対し3月2日に支払うことを発表しました。

2016年度第4四半期 決算報告*

- 純利益は1億9010万ドル（前年同期1億6310万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は2.92ドル（前年同期2.46ドル）になりました
- 営業利益**は、1億7130万ドル（前年同期1億8800万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は2.63ドル（前年同期2.84ドル）になりました
- 保険料収入（正味）は前年同期より7%増加し、25億ドルになりました

2016年度 第4四半期における事業の概況

- 2016年12月22日 RGA の取締役会は、アナ・マニングを 2017年1月1日付で RGA の CEO に任命することを発表しました。マニングは、2016年12月31日に退任した前 CEO グレグ・ウッドリングの後任として、2015年11月に社長に就任しました。
- RGA とアクサ・フランス・アシュアランスは、1万5000人以上の年金受給者に対する年金負債およそ13億ユーロを含む再保険取引を締結しました。この取引はフランスにおける RGA 初の長寿スワップであり、ソルベンシーII に基づいてヨーロッパで事業を行うお客様の長寿リスクの低減をサポートする上で、重要な一歩となりました。
- 2016年12月 RGA は、インドの保険規制開発庁よりインドに支店を設立し事業を行う認可を取得しました。インドでは認可を受けたオフショア再保険会社として RGA サービス・インディアがこれまで15年以上に亘りお客様をサポートしてきました。
- NMG コンサルティングが行った 2016年再保険会社調査において、RGA は「Business Capability Index（再保険取引能力指数）」で米国死亡保障再保険分野で第1位になり、イノベーションおよび任意再保険においてもトップクラスの再保険会社と評価されました。また、インドネシア、シンガポール、タイ、台湾、日本、フィリピン、香港、南アフリカ、およびアジアを対象に実施された国・地域別調査においても再保険取引能力指数で第1位を受賞しました。
- RGA リインシュアランス・カンパニー・ミドル・イーストは、業界表彰制度である 2016年度ミドル・イースト・インダストリー・アワードにおいて「Reinsurance Company of the Year（再保険会社年間最優秀賞）」を2年連続で受賞しました。
- RGA は、アジア・インシュアランス・レビュー誌が主催する年間表彰制度第20回アジア・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて「Employer of the Year（事業主部門最優秀賞）」を受賞する栄誉に輝きました。

当社の 2016年度第4四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations をご参照ください。

RGA の概要

グローバルで再保険引受保有額約3兆1000億ドル、総資産531億ドルを有し、RGA は世界有数の生命再保険会社です。RGA は下記の各国において事業を行っています。

アメリカ、カナダ、バミューダ、バルバドス、ブラジル、メキシコ、インド、オーストラリア、韓国、シンガポール、台湾、中国、日本、ニュージーランド、香港、マレーシア、アイルランド、イギリス、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ポーランド、アラブ首長国連邦、南アフリカ（地域別50音順）

注記事項

* 数値はすべて米ドル表示

** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。営業利益（税引前および税引後）は、キャピタル（ゲイン）ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル（ゲイン）ロス等は変動し得るものの、必ずしも当事業の業績を反映しないことがその理由です。

また、営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益（損）、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。GAAP 会計の純利益との調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

当社は、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を用いますが、投資や為替換算の時価評価調整に主に伴う未実現損益の効果を消去し、貸借対照表の評価を行う上で重要と認識しています。希薄化後一株当たり営業利益は GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、営業利益を希薄化後発行済株式数加重平均で除して算定されます。自己資本利益率は GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、営業利益をその他の包括利益累計額を除く純資産の平均で除して算定されます。

2016年第4四半期（10月1日～12月31日） 純利益から営業利益への調整（連結ベース）

(数値は未監査)

	(単位：\$ 1,000)	
	2016年第4四半期	2015年第4四半期
GAAP 純利益(損失)	\$ 190,149	\$ 163,127
キャピタル（ゲイン）ロス、デリバティブ他（正味）（資産運用関連（収益）損失に含まれる）	66,640	40,423
キャピタル（ゲイン）ロス、留保資産（資産運用収益に含まれる）	(5,355)	161
組込デリバティブ：		
資産運用関連（収益）損失（正味）に含まれる	(72,343)	(6,004)
投資利息に含まれる	(25,977)	(917)
繰延新契約費（正味）	17,957	(8,542)
ユニットリンク型変額年金投資収益	(2,741)	-
ユニットリンク型変額年金投資利息	2,741	-
投資性のない為替デリバティブ	188	(78)
営業利益（損失）**	<u>\$ 171,259</u>	<u>\$ 187,950</u>

RGA は、本資料において提供される情報の正確性を確保するために相応の努力を払うものとし、その正確性について何ら表明または保証するものではありません。本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の合意なしに第三者が公開または利用することはできません。本資料に記載された将来見通しに関する記述は、本資料作成日現在における将来の財務内容および成長可能性に関する記述です。そのため、将来見通しに関する記述に明示的あるいは黙示的に示される業績や事象が実際の業績や事象と大きく異なる場合があります。将来的に当社の状況に変化が生じた場合にも、当社は、将来見通しに関する記述について更新して公表する義務を負うものではありません。

RGA リインシュアランス カンパニー日本支店

〒107-6241 東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウンタワー41F

TEL 03-3479-7191 (代表)

URL <http://www.rgare.com/>